

裏六甲 逢ヶ峽沢登り 山行報告書

和歌山県勤労者山岳連盟 紀峰山の会 Ver_20250601
 事務所：〒641-0044 和歌山市今福1丁目1-11 アマノマンション202号

山行報告書提出日	2025年 7月 7日	報告書記入者	N.M
山行期間	2025年 7月 5日(土) ~ 2025年 7月 5日(土)		
山名・山域	裏六甲 逢ヶ峽	登山方法	沢登り
山行目的他 山行区分	安全教育部の初級沢登りコース候補の下見	<input checked="" type="checkbox"/> 会山行	<input type="checkbox"/> 公開山行
		<input type="checkbox"/> 自主山行	<input type="checkbox"/> その他山行

参加メンバー

任務	氏名
CL	M.N
SL	N.S



時刻	場所
07:45	北コミセン
:	コインパーキング探し
10:00	コインパーキング
10:20	出発
:	沢までの道探し
11:15	入渓
12:00	鍋谷ノ滝分岐(昼食)
12:25	鍋谷ノ滝分岐から滝を見に行く
12:35	鍋谷ノ滝分岐(昼食)
13:25	猪ノ鼻滝(ゴルジュ)
:	トユ状スライダー 終了
14:00	脱渓から入渓ポイントまで10分
14:30	コインパーキング
:	からと温泉
17:00	中華街
20:00	帰和

ルート図



山行記録

目的のコインパーキング探しに時間はかかったが何とか発見。駅からも近い住宅街のど真ん中にあるコインパーキング、1時間100円。 沢の感じが全くない駐車場から学校や住宅街を怪しげな2人がウロウロさまよいながら目的地到着。 地元住民が涼を求めて涼みに来る散歩コースのようで、犬を連れての方が河原に入って楽しんでた。「最近雨が降っていないから水も少ないし、コケも生えてきた。」と地元住民。 子供から大人までたくさんの方が入渓しているようで声も聞こえてくる。 沢中出会う方はヘルメット無し、サンダル軽装の方がほとんど。でも滑るし、ヘルメットや沢靴はあった方が良いと思う。入渓から癒しの沢歩き、水の中の小ぶりの石に滑らないよう慎重に歩く。12時、軽く食べてすぐ近くにある鍋谷ノ滝 三段を見に行く。二段目までは3mほどの小滝の側壁を登れるが無理せず右岸の階段状の簡単な岩を登り、滝全体を見ることができる。滝を見て戻り、進むと堰堤がある。少し水遊びして道に上がって再度入渓。しばらくゴーロと2つ目の堰堤を超えると猪ノ鼻滝ゴルジュがある。泳いで壁に設置しているロープを使って棚に上がり、滝を超えていける。棚にあがる一歩が足場があまりないのでパワーかカラビナでスリングを通し、鏡のようにして超えることもできるし、終えて泳いで取りつかなくともすぐ道にあがれるので、少しゴルジュで遊んでから道の入り、滝の二段目から再度入渓。最後にトユ状のスライダーで遊んで、脱渓。舗装道路を10分下ると入渓地点。超楽ちん。入渓地点から20分歩きコインパーキングへ戻った。すぐ近くにあるからとの湯でさっぱりしてから神戸南京町 中華街で食べたり、帰りに好日山荘に立ち寄り、山行の後も楽しむことができ満足。

山行中のトラブル

特になし。初めての沢は入渓地点までの道のりも核心の一つ、下見してよかったな～

